

たくさんの方々に会員になっていただき、「NPO 法人
あなたらしくをサポート」の活動を支援していただきま
した。お名前を掲載し、心よりお礼を申し上げます。

【2015年度会員】（敬称略）相崎佐和子 足立和雄 渥美嘉子 天羽淑恵 安藤黎子 池田小夜子 井尻真紀
伊藤計子 魚森英輔 魚森光代 後文男 大槻修 大津留求 恩塚百合子 柏原寿美枝 川上八郎 川島知子
瓦谷よしみ 岸田真佐人 笹尾照美 笹山幸雄 櫻井幸典 芝田一也 荘司幸子 鈴木稲弘 鈴木初子
砂田枝里 高塚伴子 虎谷めぐみ 中島照 長野嘉行 西口真美 西脇律子 濱昌央 林孝子 林智良
藤田優子 宮村安規子 元見三郎 森崎敏子 森知子 保田栄昭 保田好司 保田憲司 山元佳代子 山本千恵
湯里茂子 吉川扶美 吉永深

【2016年度会員】（敬称略）相崎佐和子 足立和雄 渥美嘉子 天羽淑恵 池田小夜子 伊藤計子 伊藤つぎ
上田ひとみ 魚森英輔 魚森光代 後文男 大槻修 大津留求 大家美津子 柏原寿美枝 川上八郎 河口洋美
川島知子 瓦谷よしみ 桜井周 笹尾照美 芝田一也 鈴木稲弘 鈴木初子 砂田枝里 高塚伴子 泊照彦
虎谷めぐみ 中島照 長野嘉行 西村政明 西脇律子 濱昌央 林孝子 松浦光代 宮村安規子 森崎敏子
森知子 保田栄昭 保田憲司 山園有理 山元佳代子 四本博文 吉永深

【らしーくボランティアスタッフ】※イベントのPR、ニュースレター配布等に、ご協力くださるスタッフさんです。
（ご無理のない範囲で気軽にご協力いただける方は nporasiku@gmail.com までご連絡ください）
（敬称略）相崎佐和子 大津留求 岸田真佐人 鈴木稲弘 鈴木初子 虎谷めぐみ 濱昌央 林やよい
元見三郎 若松和子

【イオン伊丹昆陽店 幸せの黄色いレシートキャンペーンでの応援ありがとうございます】

毎月11日に、イオン伊丹昆陽店の黄色いレシートを、「らしーく」の地域活動ボックスに入れてくださり、ありが
とうございます。多くの方々に、お買い物でも「らしーく」を支えて頂いていることに、心よりお礼を申し上げます。

「らしーく」って？

【どんな活動をするの？】

- 次にあげる特定非営利活動を行います。
- ①男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
 - ②子ども健全育成を図る活動
 - ③まちづくりの推進を図る活動

【どんな事業をするの？】

- ①啓発・セミナー事業
- ②情報発信事業
- ③組織支援・人材育成事業
- ④調査・研究事業
- ⑤相談事業

【らしーく役員】

- | | |
|-------|------------------------|
| 代表理事 | 中田 香子 |
| 副代表理事 | 石崎 和美 |
| 副代表理事 | 大林 千雪 |
| 副代表理事 | 波多江 みゆき |
| 理事 | 片山 実紀 |
| 理事 | 川崎 かおり |
| 理事 | 澤田 淳子 |
| 理事 | 田中 利明 |
| 理事 | 中山 直子 |
| 理事 | 星野 郁子 |
| 理事 | 増本 有砂 |
| 監事 | 山本 千恵 |
| 顧問 | 高島 進子
(神戸女学院大学名誉教授) |
| 顧問 | 朴木 佳緒留
(神戸大学名誉教授) |
| 顧問 | 今井 小の実
(関西学院大学教授) |



【寄付・会員募集】

「らしーく」の活動は、皆様のご寄付・協賛でま
かなっています。男女の縛りに囚われず、一人ひ
とりが自分らしくイキキと生きることができ
るまちづくりのためのご協力、本当にありが
うございます。

- ・正会員 個人 年会費 5,000円
 団体 年会費 10,000円
- ・賛助会員 個人 年会費 1,000円
 団体 年会費 5,000円

【振込先】

特定非営利活動法人あなたらしくをサポート
・郵便振替口座 記号 14390 番号 18066961
・他行より振り込みの場合
店名 四三八(よんさんはち)
口座番号 普通預金 1806696

【あるいは、メンバーに直接お渡しください】

♪ イベント等で、参加者の皆様に、プレ
ゼントをさせていただき、企業様から
の商品のご寄付も大歓迎です。♪

… 編集後記 …

らしーくの今年度の活動軸のひとつが「キャリア教育」です。松谷化学
の「会社見学」では小学生と保護者に、大阪大学を東中に招いた「進路選
択の秘訣」では中学生と保護者に、アプローチをしました。自分らしい生
き方に繋がる「キャリア教育」の推進のためには、大人への働きかけも重
要です。ぜひ、様々なご意見、アドバイス、よろしくお願ひ致します。

「らしーく」は、すべての人に男女共同参画をわかりやすく伝えることにより、一人ひとりが「自分らしく」生きることができる社会を目指します。

あ・な・た・ら・しー・く



らしーくマスコット
らっしー

NPO 法人あなたらしくをサポート
ニュースレター

NEWS
LETTER

- 発行：特定非営利活動法人あなたらしくをサポート(愛称：らしーく) ●mail：nporasiku@gmail.com
- web：nporasiku.jimdo.com ●facebook：www.facebook.com/nporasiku

女性たちの意思決定の場への参画とネットワーク化 ～震災の経験と教訓～

神戸学院大学現代社会学部教授 清原 桂子



大災害時における男女共同参画の
課題を顕在化させ、はじめて大きく
世に問うたのは、1995年の阪神・淡
路大震災です。救援物資として粉ミ
ルクは届いても、ほ乳びんや離乳
食、おむつ、ベビーバスは届かな
い。その日から入用な生理用品や下
着の不足、避難所に間仕切りはな
く、プライバシーは保たれない。授
乳や着替えのスペースもなく、仮設
トイレは男女別でなくて、水分を控
える人まででした。

こうした救援物資や避難所の環境
の問題、不安定雇用が多かったた
めの女性たちの解雇や、震災によ
って急に同居(震災同居)すること
になった大家族の「嫁役割」の悩
み、そして応急仮設住宅に入居す
る頃から目立ってきた男性たちの
閉じこもり、アルコール依存、DV
(配偶者間等暴力)の増加なども、
大きな問題となりました。

このような状況に対し、行政によ
る相談会や復興事業と並行して、
ベビーバスなどの提供を呼びかけ
て避難所へ届けたり、集まりを重
ねて「男女共生のまちづくり提言
～復興

の兵庫へ向けて～」の発表を行い、
隠れていた問題を表に出していつ
たりしたのは、民間・行政の違
いや肩書きにかかわらず結ばれた
女性たちのネットワークの力
でした。

阪神・淡路大震災の経験と教訓
は、その後、数回にわたる国の防
災基本計画の修正や男女共同参
画基本計画への防災分野の導入
などにつながりましたが、東日本
大震災や熊本地震でその成果が
十分に反映されなかったといえ
ません。女性や赤ちゃん用救
援物資の不足や、届いているの
に不要だからと設置されない
避難所の間仕切り、女性だけの
食事作りや後片付け・掃除当番
など「避難所の嫁役割」、意思
決定の場の女性たちの少なさ、
そして男性たちの孤立やアル
コール依存などが繰り返され、
今も続いています。

東日本大震災後、防災基本計
画のさらなる修正や、防災会議
メンバーに女性など多様な人材
に参加してもらうための災害
対策基本法の改正、女性活躍
推進法の施行なども行われ
てきましたが、法制度だけでなく、
それぞれの身近な地域や職場
で、生

活者視点で物言うことができる
女性たちの意思決定の場への
参画とネットワーク化を進め
ていく必要があります。その
ことが実は男性たちにと
っても生きやすい社会をつ
くることになること、防
災・減災のまちづくりに
つながることを、私たち
は阪神・淡路大震災で痛
感したのですから。

「男と女のおかしな！？
カレンダー2017」発売開始



Webサイト「いたみん」に連
載中の「男と女のおかしな！？
ハナシ」が、来年の卓上カ
レンダーになりました。限定
70冊です。お求めはお早
目に。

- ◆卓上カレンダー(額入り)
- ◆A5サイズ、12ヵ月分
- ◆1,400円、限定70冊
- ◆イラスト：林やよい
- ◆予約：nporasiku@gmail.com